

子育て世代の **声** をお届けする

# 母子モ通信

vol.  
**08**  
令和元年



# 令和

エムティーアイが運営する  
母子手帳アプリ『母子モ』は、  
サービス導入自治体の最新情報や  
子育て世代の声を集めた  
『母子モ通信』をお届けしています。

**平成生まれモ！令和生まれモ！みんな母子モ！**

『ルナルナ』や『母子モ』による、ライフステージに合わせたサポート全体を紹介します

# 『ルナルナ』と『母子モ』を使って、 妊娠前から妊活、妊娠・出産、育児までをまるっとサポート！

● ルナルナ



● ルナルナ メディコ



● 母子モ



● JiiMo



## 初潮を迎えたら『ルナルナ』デビュー！

20年近くにわたって幅広い世代の女性の健康をサポートする強い味方

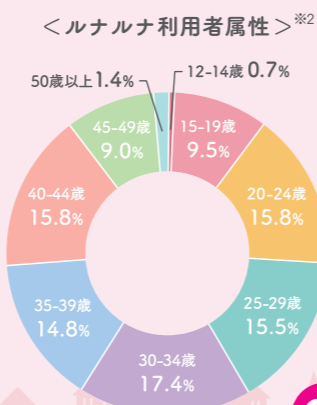


ライフステージに合わせて女性の一生をサポートする健康情報サービス『ルナルナ』では、毎月の月経日管理はもちろん、月経前の心身の不調(PMS)や、体調、体重、基礎体温の記録・管理までができるサービスです。

いつも持ち歩くスマートフォンを通じて、**初潮から妊活、妊娠、出産、育児まで、女性の一生の健康をこれひとつでサポート！**

累計ダウンロード数は1300万\*1以上と、多くの方に愛用されている女性必携のサービスです。

\*1 2018年11月時点  
\*2 NPS調査より(n=5455人) 2017年2月時点



医師と女性をつなぎ、

## より個人の状況に合わせた診療をサポート！

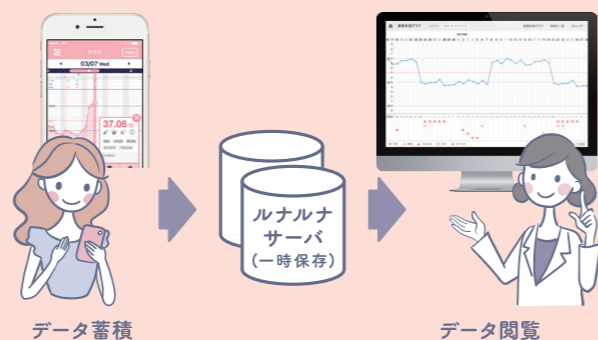
ルナルナ メディコ

『ルナルナ』で記録した月経周期・基礎体温などのデータを、提携している産婦人科での診療時に医師に提示できる機能です。妊活中で毎日の基礎体温計測が必要な方や、産婦人科へ通院している女性にとって、**日々のカラダのデータを確実に、そして手間なく医師に伝えられることができます。**

また、医師にとっても患者さんの端末ではなく手元のPCやタブレットなど大きな画面でデータを見ながら診察することができるので、よりスムーズで個人の状況にあった診察・診療に役立てて頂いており、提供開始から約2年が経った現在は全国の婦人科クリニックへ導入が拡大しています。

導入クリニックからは「これまでの紙のフォーマットで管理していた基礎体温のグラフなどがデジタル化され、記録する際の患者の負担が減った」「体温の推移や月経周期を大きな画面で確認できるので、スムーズな診察・診療につながっている」というような喜びの声を頂いています！

<ご利用イメージ>



ついに改元を経て「令和」の時代がやってきました！平成は、年間の出生数が初めて100万人を切るなど、少子化が進行した時代となりましたが、令和では母子手帳アプリ『母子モ』による地域に密着した出産・育児のサポートや、『ルナルナ』と連携することで少子化対策へますます貢献していきます。Vol.8となる「母子モ通信」では、今回、『母子モ』の導入を検討している自治体の皆様へ向けて、エムティーアイが提供する、妊活から妊娠、出産、育児まで切れ目のないサポートの全体像を改めて紹介します。『ルナルナ』から『母子モ』、そして『JiiMo』へ。それぞれのライフステージに合わせたサービスが連携し合うことで、新時代の子育ても支援していきます。

自治体と子育て世代をつなぐ子育て支援サービス。

## ママモ、パパモ、みんな『母子モ』でつながる！



『母子モ』は、紙の母子健康手帳と並行してご利用頂くサービスで、妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種の自動スケジュール管理、出産・育児に関するアドバイスの提供はもちろん、夫婦・家族間での共有機能や、自治体が発信した子育て情報や地域のイベントなどもリアルタイムで住民に届けられることなど、**育児や仕事に忙しい保護者を助けてくれる便利な機能が充実しています。**

特に、各市区町村にある「子育て世代包括支援センター」で行われているイベントや施設情報は、なかなか住民の方へ届きにくいという声も寄せられますが、そのような情報も『母子モ』を通じて住民へ広く知らせることができ、センターの利用促進にもつながっています。



住民・自治体・医療機関をつなげ、

## 予防接種のスケジュールリングから実施記録までを一元管理！ JiiMo

予防接種管理ベビーテック

煩雑な予防接種のスケジュールリングから実績管理までをトータルでサポートする地域連携型のベビーテックサービスです。赤ちゃんの予防接種は非常に種類が多く、受けられる期間や接種間隔も複雑なため、そのスケジュール管理は保護者にとって大きな負担となっています。また、自治体や医療機関においても予防接種にかかわる業務は煩雑であるため様々な対策を行っているものの、厚生労働省によると、予防接種の接種事故は年間6,000件以上にのぼるとされています。

『JiiMo』では、システムによって年齢や性別、既に接種したワクチン情報や集団接種の指定日などを自動制御することで、**自治体・医療機関の負担を削減しながら、業務を高度化・効率化し接種事故の防止を目指します。**

現在、医療機関との実証実験も開始しており、今後は『母子モ』と連携することで、予防接種のオンライン予約やデータ連携を実現し、保護者の負担を軽減しサポートします。



